

情報ページ

このガイドブックは下記のホームページを参考にして作成しました。

新型コロナウイルスに関する政策、対策などの情報が随時更新されています。

厚生労働省ホームページ
新型コロナウイルス感染症について

県内の感染状況や対応についての情報が更新されています。

沖縄県ホームページ
新型コロナウイルス感染症関連の特設サイト

感染症専門の様々な情報が発信されています。

一般社団法人日本感染症学会ホームページ
新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルスについて、子どもに関する情報が発信されています。

公益社団法人日本小児科学会ホームページ
新型コロナウイルス関連情報

コロナ禍の子どものストレスとそのケアについてなど、家族や支援者向けの情報が発信されています。

国立研究開発法人国立成育医療研究センターホームページ
新型コロナウイルスと子どものストレスについて

子どもの心のケアのポイントや、関わり方についての情報が発信されています。

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンホームページ
「子どものための心理的応急処置」

新型コロナウイルスの世界での動向や情報が発信されています。

世界保健機関(WHO)ホームページ
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)
WHO公式情報特設ページ



子どもの居場所の感染症対策ガイドブック



制作・発行：子ども遊びプロジェクト
子ども遊びプロジェクト Facebook
思いがけぬ社会を変えるみんなの力を活用した事業です
ももやまこども食堂 一般社団法人千和 社会福祉法人勇翔福祉会コスモストーリー保育園 那覇市園児児童館(一般社団法人沖縄じんぶん考房)

お問合せ：NPO法人沖縄県学童・保育支援センター
電話：098-870-1838

2021年3月発行



子どもは、先のことを見通す力がまだ弱いので、嫌なことがあると「また明日も...」「どうせ...」や「やっぱり...」と否定的な言葉を発しやすくなります。「明日は明日」「今日は休んで忘れよう」「次はいいよ」といった先のことを見通すことができません。11歳になると「体の免疫力が落ちるといって、このことがわかるようになります。」「先のことを見通す力がまだ弱いので、嫌なことがあると「また明日も...」「どうせ...」や「やっぱり...」と否定的な言葉を発しやすくなります。」「明日は明日」「今日は休んで忘れよう」「次はいいよ」といった先のことを見通すことができません。11歳になると「体の免疫力が落ちるといって、このことがわかるようになります。」

① 先の不安をなくす言葉かけをする
そして、次のように関わってみましょう。
「先のことを見通す力がまだ弱いので、嫌なことがあると「また明日も...」「どうせ...」や「やっぱり...」と否定的な言葉を発しやすくなります。」「明日は明日」「今日は休んで忘れよう」「次はいいよ」といった先のことを見通すことができません。11歳になると「体の免疫力が落ちるといって、このことがわかるようになります。」

② 子どもにわかるようなエピソードを説明し安心させる
子どもの発達に応じて、理解の仕方は変わります。例えば、病気の原因について5歳の子は、「獲ている間にバキーンが壊れて、体の免疫力が落ちるといって、このことがわかるようになります。」「先のことを見通す力がまだ弱いので、嫌なことがあると「また明日も...」「どうせ...」や「やっぱり...」と否定的な言葉を発しやすくなります。」「明日は明日」「今日は休んで忘れよう」「次はいいよ」といった先のことを見通すことができません。11歳になると「体の免疫力が落ちるといって、このことがわかるようになります。」

③ まったり、充電する時間と空間をおく
子どもは、先のことを見通す力がまだ弱いので、嫌なことがあると「また明日も...」「どうせ...」や「やっぱり...」と否定的な言葉を発しやすくなります。」「明日は明日」「今日は休んで忘れよう」「次はいいよ」といった先のことを見通すことができません。11歳になると「体の免疫力が落ちるといって、このことがわかるようになります。」



教授 渡辺 弥生さん
法政大学文学部心理学科

はじめに

「子どもたちの遊びは、人として成長するための大切なもの。コロナ禍で、制限が増えてしまった子どもの遊びを、もう一度取り戻したい!」そんな思いをカタチにするために、子どもたちの充実した遊びの環境と感染防止対策との上手なバランスのとり方を、子どもの育ちの現場にいる私たち大人が考え、チャレンジしていくために、このガイドブックを作成しました。このガイドブックでは、子どもの遊びと感染防止対策とのバランスのとれた環境づくりを、放課後児童クラブや児童館・子どもの居場所や保育園などの運営者が取り組んでいるように、現場でがんばる先生方の不安や心配が少しでも取り除けるように、具体的な感染防止対策を考える際の判断材料となる情報をまとめました。新型コロナウイルスにはまだまだ未解明な点も多く、変異株の発現などもあります。「これで大丈夫!」という対策はありませんが、現場での感染症対策の工夫を続けるために、役立てていただけたら幸いです。

もくじ content

1. 新型コロナウイルスについて
2. 子どものあそびと発達
3. コロナ禍による子どもの心身への影響
4. コロナ禍の子どもの居場所の運営について
5. アンケート項目・意見へのQ&A
6. コロナ禍を子どもの環境を見直すチャンスに
7. 情報ページ



コロナ禍を、子どもと向き合う機会に

うるま市 コスモストーリー保育園 天願 順優さん



本園では、コロナ禍において保育を改めて見つめ直すことで、保育の質向上に繋がる機会になりました。以下では、その主な取り組みを2点ご紹介いたします。
取り組み1 食事する際の工夫は、3密を避けるだけではなく、お腹すくリズムに合わせて食べられるようにしました。子どもの朝食の時間は、家庭環境などの背景によって、子どもが自分でお腹がいっぱいになるようにすることで、食への意欲が高まる機会になっていきます。
取り組み2 例年行われていた行事の見直しを行いました。例えば、運動会のように大勢が集まって運動をすることでなく、子どもは普段の遊びの中で多様に身体を動かしてしまっています。そのため、それぞれの子どもが遊びから見える運動的な育ちを動画配信することや、園のさまざまな環境で身体を染しそうに動かすだけではなく、子どもが木の葉を採取する姿など保育のさまざまな発見にも繋がりました。



マスクを履くことで感染します

呼吸器系のウイルスなので、マスクを履くことで感染します。マスクを履くことで、目や鼻を触ることからウイルスを手で触れてから目や鼻を触ることから感染します。

度まで感染力が高く、発症後10日程現れた頃が感染力も高く、発症後10日程まで感染力があるとされています。

※無症状の感染者の感染力は高くないと言われています。

味覚や嗅覚の消失などの症状が出るのが一般的です。

マスクを履くことで感染します

新型コロナウイルスは他のコロナウイルスと違い、さまざまな生き物が感染するようです。これまでに、ヒトからヒト、ネコが感染した例があります。

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)はコロナウイルスのひとつです。粘膜などの細胞に入り込み増えることができます。粘着剤などの細胞に入り込むことができず、付着するだけと言われています。

物の表面についたウイルスは時間がたてば壊れてしまいますが、24時間〜72時間くらい感染力を持ち続けます。

言われています。

新型コロナウイルスの特長

24〜72時間

24時間〜72時間くらい感染力を持ち続けます。

物の表面についたウイルスは時間がたてば壊れてしまいますが、24時間〜72時間くらい感染力を持ち続けます。

言われています。

遊びによる子どもの発達とは

発達 身体機能の発達
体を動かすことなどによる

発達 協調性や社会性の発達
他者との関わりやルールのある遊びによる

発達 挑戦意欲の増進
失敗から学び、解決策を見出すことによる

発達 自発性や新しい事への創造性や柔軟性の発達
様々な体験をすることによる

子どもの遊びを保証したい理由

子どもたちは、遊びを通して社会を理解し、人を理解し、自分の身体の使い方、物や道具を使って成果を得る体験をくり返し、脳と身体を発達させていきます。子どもたちにとっては、外で遊ぶことも、友だちと遊ぶことも、日々必要なものなのです。新型コロナウイルスの感染防止対策のため、遊びの種類や、遠足などの行事を減らすなど、子どもの日常の遊びの豊かさや体験の機会を制限せざるを得ない時もあります。しかし、子どもの日常に関わる施設では、子どもの発達年齢や特定疾患の有無、家族などにも配慮しながら、子どもの成長の機会に配慮した感染対策を検討、できることから実践して、遊びや体験を充実させていきたいと思います。

4 コロナ禍の子どもの居場所の運営について

新型コロナウイルスの特徴

- 飛沫感染、接触感染によって広がる
- 子どもも大人と同様に感染する
- 大人から感染することが多い
- 子どもから感染することは少ない

感染予防策

- 手指衛生を行い、物品を消毒してウイルスの付着を防ぐ
- 換気を良くし、空気感染を防ぐ
- マスクを使用し飛沫感染を防ぐ

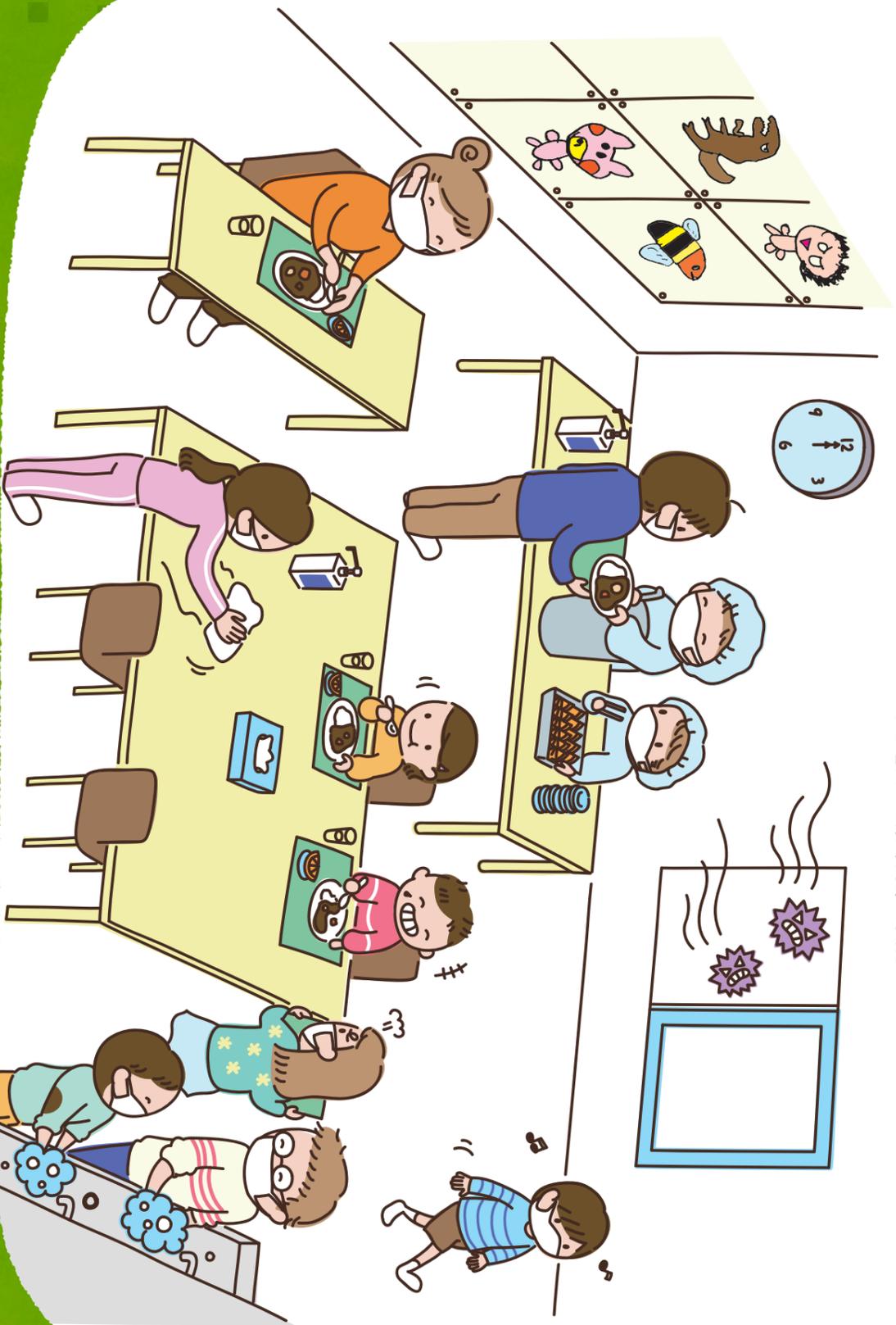
コロナ禍で子どもの居場所を運営する際には、新型コロナウイルスの特徴と、感染防止対策をふまえて、行事や遊び、食事、空間づくりをしていく必要があります。人と関わりながら過ごす日々において、感染しないことは不可能なので、なるべく可能性を減らし、感染を広げないための取り組みをしていきましょう。

施設での感染対策

- 常時換気し、ウイルスを速やかに排出
- 施設内の清掃、消毒を行い、清潔な空間を維持する
- 職員の体調不良時に休める勤務体制づくり

運営中の対策

- 大人と子どもの食事を取る場所を分ける
- 食事の配膳の際の手指消毒、マスク着用の徹底
- 大人も子どもも、こまめな手洗い、消毒を行う
- マスクを着用した飛沫対策の実施



5

アンケート項目・意見へのQ&A

Q1. 室内でマスク着用を強制するべきでしょうか。できればしたくないのですが。
A 室内でマスクを使用することは、感染リスクの低減に効果があります。適切にマスクを使用できる児童には着用してもらう方が良いですが、利用する子どもの人数や地域での流行状況から、常時使用するかの判断をすることも必要かもしれません。

Q2. マスクをしたがらない子どもが多いです。
A 発達段階や特性により、常時着用が難しい、マスクの管理が適切にできない場合もあります。その際には、他の感染対策で対応しましょう。
※日本小児科学会 子どもおよび子どもに関わる業務従事者のマスク着用の考え方 参照

Q3. どうしても密になってしまいます。
A スペースが狭いなどの理由で、どうしても密になってしまう場合には、定期的な手指消毒やマスクを着用するなど、できる方法で感染対策をとりましょう。

Q4. 部屋での遊びは常に密で、毎回毎回消毒などできないのですが、閉鎖後消毒しても効果は得られますか？
A 物に付着したウイルスは、3日程度は存在しているため、閉鎖後の消毒でも効果はあります。

Q5. 遊具や普段触れるもの、壁手すりなど、どれくらいの頻度で除菌が必要でしょうか？
A 消毒はやればやるだけ効果はあります。使用する遊具やオモチャを減らすことで業務を調整し、実現可能な回数を設定することもひとつの案かもしれません。

Q6. 毎日床に漂白剤を希釈^{※1}して使用していますが、注意書きに肌の弱い人への配慮が書かれていました。子どもが手に触れる机や玩具消毒に使用しても差し支えないでしょうか？
A 市販の漂白剤などを規定量に薄めた次亜塩素酸ナトリウム水溶液は、遊具や床などの物に対しての消毒効果があります。人体に影響があるので、水溶液が残った状態で触れることを避けるため、しっかりと拭き取る必要があります。
※1 厚生労働省ホームページ参考

Q7. 換気がなかなかできない部屋の作りで困っています。空気清浄機やサーキュレーターを数台入れていますが、いい案はないでしょうか？
A 換気は常に行うことが効果的です。風通しの悪い部屋の近くに扇風機やサーキュレーターを置き、窓の外に向けて使用することで、換気量を増やすことができます。

注意!
● 室内に向けて扇風機を稼働させるとういウイルスが部屋中を動き回ることになります。
● 空気中のウイルス対策として消毒剤を空間噴霧することは、厚生労働省では人の健康に影響があるため、お勧めしていません。
● 塩素系漂白剤を薄めた次亜塩素酸ナトリウム水溶液は、空間除菌をするときに人体に影響があるためお勧めしていません。
参考資料：厚生労働省ホームページ 新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について